

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	中山間地域振興事業	会計	一般会計	事業No.	9	施策順No.	72-005
		事業種別	政策・その他	予算科目	2-1-5-15-1		
政策	7 自立・連携した地域づくり			課等名	地域づくり・庶務課		
施策	72 自立に向けた住民組織力の向上	事業期間	開始	21	終了	30	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	中山間地域の人口及び生活機能 ※中山間地域とは、下久堅、上久堅、千代、龍江、三穂、上村及び南信濃地区の7地区をいう。						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
	意図	対象地区の人口の減少に歯止めをかけ、生活機能を再構築する。							
	対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績		23年度目標
		9月末中山間7地区住民登録人口(人)			13882	13733			
		前年対比人口減少率1%以内(%)			1.1	1	1.07	1	B
		UIターン者数(人)		30	30	40	30		
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	地域づくり活動と協働する施策のほか、生活基盤の整備や産業分野との連携を強化しながら、住み続けられる環境づくりを推進する必要がある。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	中山間地域(7地区)における地域課題を踏まえ、地区の主体的な取り組みを進める中で、庁内組織と自治振興センター、まちづくり委員会が連携して中山間地域振興のための事業を推進する。 飯田市中山間地域連絡会議を開催するとともに、住民が広く参加できる研究活動や調査活動などを支援する。住民自主組織であるまちづくり委員会が、地域の課題に対して主体的に関わっていくための場を提供していることから、7地区のまちづくり委員会が行う地域振興事業の支援を行う。また、過疎地域自立促進計画区域である「遠山郷2地区」を除く5地区について、地域人口の維持や新規定住者の確保等を目的とする定住支援を行う。(なお、過疎計画区域の「遠山郷2地区」については、別の定住支援事業にて同様の取組を行う。)												
22年度事業内容	中山間地域が連携して具体的な活性化方策を考え、地域資源を活用した事業モデルを作るため、中山間地域電東部会が取り組む情報発信活動や交流を通じた研究活動を支援する。具体的な研究活動を展開する中、土地利用計画などを含めた将来ビジョン作りを目指し、地域の資産価値を高める。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>名称</th> <th>活動量・単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中山間地域(7地区)の課題解決に向けて、まちづくり委員会の取り組みを事業に結びつける。 (1)中山間地域(7地区)まちづくり委員会の課題、取り組みの検討 ・飯田市中山間地域連絡会議の開催 ・調査、研修、情報収集の実施 (2)新たな取り組みを支援するため補助金の交付(中山間地域7地区まちづくり委員会) ・地域資源の活用、ブランド育成 ・子育て環境支援、結婚支援、自然景観の保全活用 など 補助率10/10 上限30万円</td> <td>(1)活動回数 (2)補助対象事業数</td> <td>(1) 6回 (2) 7事業</td> </tr> <tr> <td>1 地域資源の活用による地域振興 (1)飯田市中山間地域連絡会議の開催(7地区まちづくり委員会) ・中山間地域(7地区)まちづくり委員会と協働した地域課題研究と事業連携 (2)中山間地域振興事業支援補助(補助率10/10 上限30万円) ・少子高齢化、過疎化の課題解決や活性化方策に向けて、中山間地域(7地区)のまちづくり委員会に対して、地域の発意による事業立ち上げを支援する補助金を交付する。 (3)中山間地域の連携活動モデルを育成する。対象団体に運営補助金を交付を交付する。(中山間地域電東部会) 2 条件不利地における定住支援【新】 (1)まちづくり委員会が取り組む地域の定住策として、生活基盤を支える活動や事業を推進する事業に対して補助金を交付する。(過疎地域自立促進計画の対象地区を除く) ・高齢者や子育て世代の住み続け、UIターンや若者交流、集落機能の維持(補助率2/3 上限50万円) (2)生活機能を維持するための研究と研修活動</td> <td>1 (1)活動回数 (2)補助対象事業数 (3)補助対象団体</td> <td>1 (1) 6回 (2) 7事業 (3) 1団体</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2 (1)補助対象事業数 (2)活動回数</td> <td>2 (1) 5事業 (2) 2回</td> </tr> </tbody> </table>	事業内容	名称	活動量・単位	中山間地域(7地区)の課題解決に向けて、まちづくり委員会の取り組みを事業に結びつける。 (1)中山間地域(7地区)まちづくり委員会の課題、取り組みの検討 ・飯田市中山間地域連絡会議の開催 ・調査、研修、情報収集の実施 (2)新たな取り組みを支援するため補助金の交付(中山間地域7地区まちづくり委員会) ・地域資源の活用、ブランド育成 ・子育て環境支援、結婚支援、自然景観の保全活用 など 補助率10/10 上限30万円	(1)活動回数 (2)補助対象事業数	(1) 6回 (2) 7事業	1 地域資源の活用による地域振興 (1)飯田市中山間地域連絡会議の開催(7地区まちづくり委員会) ・中山間地域(7地区)まちづくり委員会と協働した地域課題研究と事業連携 (2)中山間地域振興事業支援補助(補助率10/10 上限30万円) ・少子高齢化、過疎化の課題解決や活性化方策に向けて、中山間地域(7地区)のまちづくり委員会に対して、地域の発意による事業立ち上げを支援する補助金を交付する。 (3)中山間地域の連携活動モデルを育成する。対象団体に運営補助金を交付を交付する。(中山間地域電東部会) 2 条件不利地における定住支援【新】 (1)まちづくり委員会が取り組む地域の定住策として、生活基盤を支える活動や事業を推進する事業に対して補助金を交付する。(過疎地域自立促進計画の対象地区を除く) ・高齢者や子育て世代の住み続け、UIターンや若者交流、集落機能の維持(補助率2/3 上限50万円) (2)生活機能を維持するための研究と研修活動	1 (1)活動回数 (2)補助対象事業数 (3)補助対象団体	1 (1) 6回 (2) 7事業 (3) 1団体		2 (1)補助対象事業数 (2)活動回数	2 (1) 5事業 (2) 2回
事業内容	名称	活動量・単位											
中山間地域(7地区)の課題解決に向けて、まちづくり委員会の取り組みを事業に結びつける。 (1)中山間地域(7地区)まちづくり委員会の課題、取り組みの検討 ・飯田市中山間地域連絡会議の開催 ・調査、研修、情報収集の実施 (2)新たな取り組みを支援するため補助金の交付(中山間地域7地区まちづくり委員会) ・地域資源の活用、ブランド育成 ・子育て環境支援、結婚支援、自然景観の保全活用 など 補助率10/10 上限30万円	(1)活動回数 (2)補助対象事業数	(1) 6回 (2) 7事業											
1 地域資源の活用による地域振興 (1)飯田市中山間地域連絡会議の開催(7地区まちづくり委員会) ・中山間地域(7地区)まちづくり委員会と協働した地域課題研究と事業連携 (2)中山間地域振興事業支援補助(補助率10/10 上限30万円) ・少子高齢化、過疎化の課題解決や活性化方策に向けて、中山間地域(7地区)のまちづくり委員会に対して、地域の発意による事業立ち上げを支援する補助金を交付する。 (3)中山間地域の連携活動モデルを育成する。対象団体に運営補助金を交付を交付する。(中山間地域電東部会) 2 条件不利地における定住支援【新】 (1)まちづくり委員会が取り組む地域の定住策として、生活基盤を支える活動や事業を推進する事業に対して補助金を交付する。(過疎地域自立促進計画の対象地区を除く) ・高齢者や子育て世代の住み続け、UIターンや若者交流、集落機能の維持(補助率2/3 上限50万円) (2)生活機能を維持するための研究と研修活動	1 (1)活動回数 (2)補助対象事業数 (3)補助対象団体	1 (1) 6回 (2) 7事業 (3) 1団体											
	2 (1)補助対象事業数 (2)活動回数	2 (1) 5事業 (2) 2回											
23年度実施計画													

3 事業コスト

		(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額
事業費	特定財源	国庫支出金			
		県支出金			
		起債			
		その他			
		一般財源		2,256	2,182
	計(A)		2,256	2,182	4,921
	正規職員所要時間				
	臨時職員等所要時間				
	人件費計(B)				0
	トータルコスト A+B			2,182	

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域が抱える課題は、飯田市全体にも共通するものであり、地区の主体的な取り組みを進めるためにも人的支援を含め積極的に取り組むべきである。(議会提案) 市議会や市政懇談会において、中山間地域における高齢化、若者流出による人口減少の現状及び地域自治の運営を危惧する質問や意見、飯田市に対する対策を求める声が多数寄せられている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	住民組織が地域で考え地域で活動し、役割を果たせる組織となる。	施策の成果指標又はムトス指標	自主的な地域づくりの参加人数(まちづくり委員会主催による活動)
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	地域の発意による事業を掘り起こす支援は、地域に住み続けようとする人の誇りを高め活力を引き出すことができている。結果的に、地域が本当に取り組みたいとする課題の研究や実践活動の芽出しにつながってきている。		
	後期に向けた課題	地域の発意だけでは不足する中心地からの時間距離的ハンディを乗り越える工夫、「住み続けられる環境づくり」を支援する。住み続けるための課題解決につながる地域独自の事業手法や新規定住者のサポート事業などの展開につなげる。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	中山間地域7地区の情報交換と研究の場を創出し、定期的な会議ができるようにしたことで、地域内の成功例を共有する環境ができた。加えて、まちづくり委員会が地域の農業部門などと連携して地域経営を見据えた農地保全の動きが出てきている。		
	後期に向けた課題	産業部門では新たな雇用につながるような地域開発型のモデル作りに向けて具体的なアクションを起こす必要がある。公共交通の活用による生活支援を考えるとともに、買い物弱者対策など効率だけでは補うことのできない部分を地域でどうやって補うか、その仕組みやあり方を検討していく。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	まちづくり委員会を中心とした協働事業として位置付けることで、コストや経費の削減につなげている。		
	後期に向けた課題	事業を推進する中で、他の制度活用や財源活用を進める。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切 でしたか	4年間の振り返り	中山間の振興に対する事業の受益者は、計画区域の7地区だけにとどまらない。7地区の活動が、飯田市全域の少子化・高齢化の取組みに反映されるものであり、飯田市の関与は不可欠である。		
	後期に向けた課題	飯田市全域における地域資源の保全、活用につながる効果が表せるようにしていく。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果た しましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけを してきましたか、又は、配慮して きましたか	4年間の振り返り	①中心的主体は、中山間地7地区のまちづくり委員会であり、地域の実情に沿ったきめ細かな地位振興研究が進んだ。 ②飯田市の持つ様々な分野の支援制度や取組み事例の情報を提供してきている。		
	後期に向けた課題	まちづくり委員会や地域組織が取り組んでいる事例などについて、市役所組織や市民組織で情報共有ができる仕組みを作る。		
全体を通じて	4年間の振り返り	中山間地域の振興については、福祉や医療サービス、商業や交通サービス、産業体系や教育環境など様々な社会環境の影響が大きく切り口が難しい。そのような中で、まちづくり委員会が主体となり地域コミュニティをベースとした、「地域づくり型の住み続け事業」を糸口とした事業展開を進めることが、対象全地区で認識され具体的な事業につながってきた。		
	後期に向けた課題	まちづくり委員会の地域コミュニティ力を活用した住み続け施策の継続。 三遠南信自動車道の進捗に合わせて、土地活用や保全すべき資源を明確にする。これにより、地域の近未来における可能性をPRし産業分野の投資や住みたいと考える人を増やす取組みを進める。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	----------------------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------